



特別支援教育通信

～お助け支援グッズ特集～

令和8年7月15日

清瀬市立清瀬第八小学校

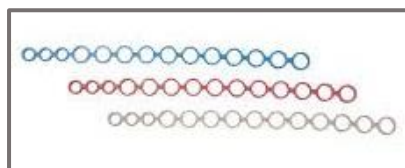
校長 大森 雅之

特別支援教育コーディネーター

No.2

今回は、お子様の学習について「〇〇が難しい、できない」というお悩みを改善する「支援グッズ」を紹介します。どれも、一般的に販売しているものです。

お悩みその1：落ち着いて座ることや姿勢の保持が難しい



「ふみおくん」

子供が求める感覚刺激を与えることで、
落ち着かせたり集中させたりする
効果が期待できます。



お悩みその2：集中が続かない・ 時間内に終わらせることが難しい



「タイムタイマー」

残り時間を可視化することによって、
見通しがもちやすくなります。

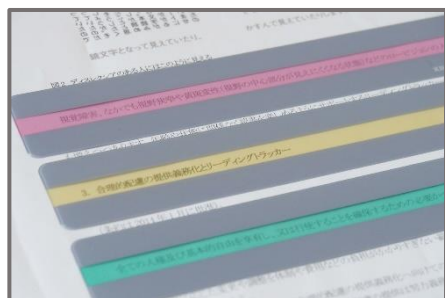
お悩みその3：上履きのかかとを踏んでしまう



「かかとはが踏めない上履き」

踵に突起があったり、踵部分が固くなったり
している上履きが販売されています。

お悩みその3：文章をスムーズに読むことが難しい (読み飛ばしや戻り読みがある)



「リーディングトラッカー」

読む行以外を隠すことで、視点を集中させ、読みやすくなります。
スリット(窓)色付きにすることで、文字の眩しさを抑える効果
があります。

定規と一体化されたものも販売されています。

お悩みその4：「かくこと」の困難

【線・図形を描くこと】



「滑りにくい定規」

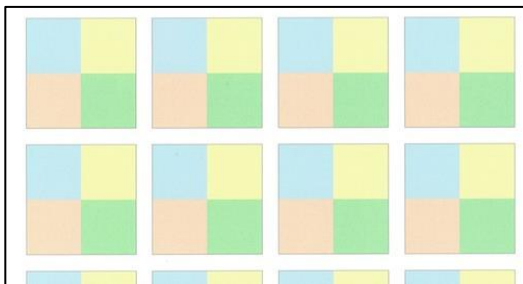
裏面に滑りにくい素材を使った定規や三角定規・分度器があります。



「円が描きやすいコンパス」

「つまんで回す」ことなく円が描けます。

【文字を書くこと】



「カラーマス目」

部屋ごとに色を変えることによって、文字の形や書き方が捉えやすくなります。

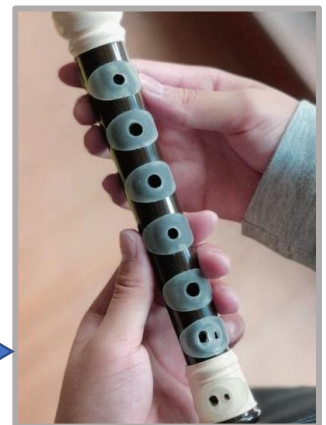
お悩みその5：リコーダー演奏が苦手



リコーダーの穴を指で抑えることが
難しい子のために、

リコーダーの穴に、シリコンキー
がついているもの

リコーダーに貼るだけで、穴が
押さえやすくなる補助シール



支援グッズを使うこと・支援を受けることについて

保護者の方の中には「できれば支援グッズを使わないで、できるようになってほしい」と思われる方もいらっしゃると思います。

でも、支援グッズを使うこと（支援を受けること）は、視力が良くない人が眼鏡をかけることと同じです。特別支援教育でも、「できないことを、できるようにする」ことよりも、「こうすればできる」と、児童が「できる」ことを増やすことを大切にしています。

ご家庭での学習でも保護者の方が、「できたね!」とお子様に言える機会が増えることを願い、支援グッズの紹介をさせていただきました。参考にいただけると嬉しいです。